

本校は、明治37年（1904年）糸満村立水産補習学校として創立され、その後、那覇市住吉、本部町、那覇市泊と移転し、昭和51年に再び糸満市に戻りました。

「自主独立」「団結融和」「実践躬行」の校訓のもと、国内外で活躍している優秀な人材を輩出してきました。

学校教育目標として、教育基本法並びに学校教育法に基づき、人間性尊重、個性の伸長を重視した教育を柔軟に展開し、高校教育の一般教養を修め、正しい勤労観を持った有為な社会人としての資質を養う。さらに、豊かな心を育み、自ら学ぶ意欲と創造性を培い、高度技術化社会、情報化社会、国際化社会、高齢化社会、生涯学習社会等へ主体的に対応する能力と態度を身につけた心身共に健康で逞しい人間の育成に努めます。

今や時代はグローバル化の到来を迎え、さらに国内においては少子高齢化、また約10年後の社会にあっては現在の生徒の皆さんの約30%の人たちは現在ない職業に就いています。とも言われています。まさに、本校の創立当初からの教育目標の実現が今試されるときであり、この目標に則り、本校職員が一丸となって学校教育を実践して参る所存であります。

本校生徒の輝かしい栄光の軌跡については、昭和59年「甲子園野球」に初出場以来、連続5カ年出場の記録やその後2年連続準優勝という甲子園史上初の快挙、また、カヌー競技では全国制覇を始め世界選手権大会3位の入賞を果たし、ボクシング競技でも全国制覇は勿論のこと、世界チャンピオンを誕生させるなどスポーツ活動においても輝かしい歴史を築いてきました。

現在は、カヌー、ボクシング、セーリング、バドミントン、野球、放送部など幅広い活動をしています。特にカヌー競技においては、全国総体での優勝や日本代表選手を輩出するなど成果をあげています。

平成6年、学科を全面的に改編し「総合学科」を導入しました。その後、平成15年に従前の情報通信科を総合学科に編入し、現在は海洋技術科（1クラス、3コース）と総合学科（5クラス、9系列）の2学科6クラス体制であります。

昨年度の進路状況は、進路決定率95.1%（進学決定率100.0%、就職内定率98.9%）の数字を残すことができました。生徒の頑張りに感謝したいと思います。

また、本県では、唯一の専攻科が設置されており専攻科漁業科、専攻科機関科、専攻科無線通信科で多くの生徒が航海士や機関士、無線従事者の国家資格取得に頑張っています。

本校の「地域の期待に応える専門高校として、社会に貢献できる人材を育成する。～文武両道で創造とチャレンジ精神にあふれる生徒を育成する専門高校～」という目指す学校像の実現のために、さらには本校の生徒が立派な社会人として活躍できる人材の育成を目指し、すべての教職員が心を一つにし、生徒一人ひとりの個性や能力を十二分に伸ばせるよう、きめ細かく粘り強く指導して参る所存であります。

高校卒業後は何をするか。将来どのような仕事に就くか。将来、幸せに暮らすためには、今、何を成すべきかを真剣に考えて、有意義な高校生活を送れるよう、魅力ある学校づくりに取り組んで参ります。

平成30年4月9日

校長 渡久山 英雅